

Weekly Report
No. 2352

2023-24年度 国際ロータリーテーマ



世界に希望を生み出そう

Hashima Rotary 2023-24年度 会長方針

「コロナ終息に於いての ロータリー活動をどう進めるか」

会長 柳原 望成 幹事 佐溝 勝樹 会報委員長 天野 洋和

事務所：〒501-6255 羽島市福寿町浅平3-106 TEL：058-392-2888 FAX：058-391-2260

例会日：毎週火曜日 12:30~13:30 例会場：西松亭 Email：hashimar@ccn.aitai.ne.jp

zoom ID：556-098-4805 PASS：4361 URL <https://hashimarc.com/>



📅 本日のプログラム

第2634回 2023年8月29日(火)

『クラブフォーラム』職業奉仕

会員卓話 西松 永根君

◎例会後、臨時理事役員会

👍 次回例会のご案内

第2635回 2023年9月5日(火)

『友愛例会』 夜間例会 18:30 点鐘

*第1例会行事

*増強活動

📖 前回例会の記録

第2633回 2023年8月20日(日)

『納涼家族例会』 送迎バス集合 9:50
バス出発 10:00 岐阜羽島バス・タクシー
点鐘 12:00 郡上高原 Ork ひるがの
BBQ 12:15~15:00

🕒 会長の時間

会長 柳原 望成



こんにちは。

今日は、ひるがの高原にて、納涼例会を開催させていただきます。非常に良い天候に恵まれ良い納涼例会だと思われま

す。台風7号は、東海地方に向かってきましたが、大阪の方面に外れ岐息への被害が無く良かったように思われます。

親睦委員長 加藤様、以下方々には、感謝申し上げます。以上で会長の時間でした。



🍷 納涼家族例会



開会挨拶
加藤親睦委員長



乾杯
岩田パスト会長





前々回例会の記録

第2632回 2023年8月8日(火)

『プログラム卓話』

新会員卓話 青木 秀益君 ・ 輿石 豊君

会長の時間

会長 柳原 望成



こんにちは。まず会長のスピーチは、5分間と聞きましたので私にとっては幸いですね。まだ大変暑い天候で猛暑ですが、国連では、沸暑と言うぐらい世界でも温暖化による暑さが続いています。でもこの暑さも台風6号によって少しは和らぐようです。そして、台風7号が発生し、東海地方へまっすぐ進んでくるようです。気を付けましょう。8月1日にインターアクト年次大会が伊賀市文化会館で行われ、地区委員荒木様、青少年奉仕委員長木寺様以下の4名方々に出席して頂き、改めてご苦労様でした。

今回はニコBOXと仕合せ貯金のお話をさせていただきます。例会場で会員が自由意思で善意の寄付金を入れる箱のことです。会員、家族、会社等での慶び事、お祝い事や失敗事に対してニコニコしながらユーモアたっぷりに披露し、拠金するものです。拠金され、毎月集められた金額は羽島ロータリー拠金として今年度の予算で、170万円の入金を予定しています。これは、奉仕活動に充てられます。また、羽島ロータリークラブには、仕合せ貯金があります。こちらは、昔、羽島ロータリークラブで独自に作られた奉仕活動の一環として精神薄弱の施設への寄付金としての拠金であります。予算は、15万円を目標にしています。奉仕の仕です。仕を合わせて拠金する「仕合せ貯金」です。

委員会報告

出席委員会

・本日の出席率
出席規定会員数 30名中 17名 56.67%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

◆柳原 望成君 佐溝 勝樹君 青木まき子さん
岩田 勝美君 加藤 宗雄君 木寺 祐樹君
栗山 和洋君 栗山 浩幸君 佐藤 裕昭君
辻井 晃君 西松 永根君 野中 学君
林 秀樹君 平松 暁仁君 松田 和彦君
虫賀 大輔君 横山 方彦君
本日はご出席の皆様よりご投函いただきました。
ありがとうございました。

新会員卓話

「家業から企業へ」



新会員 青木 秀益 君

皆さんこんにちは、1月にロータリーに入会させて頂きました青木です。どういふ事をお話していいか迷いましたが、本日は私の事を知って頂こうと思ってお話させていただきます。

私の事を話す前に、当社青木染工場についてお話します。当社は衣料、資材、小物、靴下、手袋などを染色する糸染め会社です。現在は従業員40人、年商6億の加工賃での商売をしております。

そして私は昭和41年4月5日に男三人兄弟の長男として生まれました。昔で言うと長男が生まれた、後継ぎができた、その当時は大変喜ばれたと思います。その時の喜ばれようはわたくしより青木平七郎さんの方がご存じかと思います。男三人兄弟です。子供の頃は毎日の

幹事報告(第2633回)

- 8月22日(火)は本日(23日)に例会変更
- 8月25日(金)18:30より、西松亭にて第2回IDMが開催 テーマ:「新会員研修」
リーダー:岩田 勝美
R研修情報委員 堀 雅利 【出席義務者 14名】
- 同日、18:30より大垣フォーラムホテルにて9RC幹事会が開催【幹事・副幹事】
- 次回例会は8月29日(火)『クラブフォーラム』職業奉仕会員卓話 西松 永根君
例会後、臨時理事役員会を開催

様に喧嘩です。まあ喧嘩の元もたわいもないことです。風呂の順番、目玉焼きの、物差しで測らないとわからないぐらいの大きい小さいで喧嘩です。

その度に母親のビンタを食らっていました。私の母は大垣の新町にある種田砂糖店と言うお店から家に嫁いできていました。話はそれますが、そのお陰で家には砂糖だけはふんだんにありました。夏の冷蔵庫の麦茶には砂糖が入っていて、遊びに来る友達からは珍しがられました。そんな甘いものを作る母でしたが色々な事に厳しい母でした。その母の影響か夜な夜な枕もとでささやかれていたかはわかりませんが、素晴らしい英才教育の元、中学、高校に入るところには自分は家の会社を継ぐものだという見事な洗脳に掛かっています。

未だこの洗脳は消えず今に至ります。

そして、昭和62年頃、東京の学校を出て岐阜に帰り、丁稚と言う名のもとに岐阜市小原にある牧村商店という昔で言う染料問屋に父親の勧めで勤めました。

その頃、バブルははじけていましたが、今より世の中に活気はあり景気も良かったような時代でした。岐阜に戻ってきたのは母の病気もあり、父がどうせ会社を継ぐならと勤め先を決めてきました。

一ヶ月勤め給料を見て、何じゃこれと思いました。

給料明細には 青木染工場5万円、牧村商店5万円、支給額10万円と言う金額でした。今なら完全に最賃割れで大問題です。それから弁当代、税金、車のローンなどが引かれ手元には4万前後しか残りませんでした。

頭にきた私は給料明細を握り締め、父親にふざけるのもいい加減にしろと直談判に行きました。

すると、父親からは、「家において、飯もあって、寝るところはある、4万ものこりゃ上等やろ。」と言われ、畳み込むように「何がそんなにいるんや、どうせようけやってもパチンコか麻雀に消えるだけやろ。」と言われ、なまじ外れてもないので、ぐうの音も出ず、「いや、車買ったるって言って車代引くのはいんちきやろ。」と言ったら、「利子は取っとらん。」って言い返してきました。

むしゃくしゃはするは、腹は立つわで、頭にきて次の日パチンコに行ってしまう、そんな頭に血がのぼっている時です、3万負け、あかん、終わったっと思ひ、気が付いたら学生時代夏休みにバイトしていた先に、夜バイトの申し込みに行っていました。

その後は、夜バイトにも行き勤め先が2件になり夜も12時前後の帰りが続きました。

ある日、父親が「お前金もないのに何処ほつき歩いてフクロウみたいな生活しとる。」って言われましたが、完全に、しかとしておきました。

そうこうしながら1年8か月がたち、私は家の会社に呼び戻されました。

なんでも御大層なコンピューターシステムを買ったのだが、誰も触ろうとしないからと言う理由でした。

なるほど、会社に行くとコンピューターを見ると風呂敷が掛かっています。コンピューターに風呂敷が掛か

っているのは初めて見ました。

それを動かすのに何とか半年、現場の下積みとかもやり3年後には会社のデリバリーをやっていました。

私が自分の会社に入った頃の繊維はまだ活気がありました。時代もとにかく働けと言う時代でした。リゲインの24時間働けますかと言うCMもあの頃の様な気はします。

時を同じくして弟が会社に入ってきました。数か月して父は『これからは2人に任せるから』と言って仕事の一線を引きました。

若い兄弟が先頭立ってやっているとと言う事で、何とか仕事も順調には行きましたが、とにかく社員も父の代からの職人が多く、集団就職で来た人たちが大半でした。近所の身内の人も多く、会社の中は問題が山積みでした。が仕事はありましたので何とかなっていました。

2000年問題と言われた時期が過ぎたころです。木曾川にあったクラボウさんが工場を閉鎖したところから、仕事が減り始めました。

昔、母からは『衣・食・住』と言ってこの三つは本当に必要な物だから世の中からは無くならないと言われ洗脳を受けてきました、確かに着る物はなくなりませんが、創る場所が変わるとは気が付きませんでしたし、その頃よく、今ここにお見えになる平七郎さんの弟で弘さんと言う方が、ゆでカエルの話を良くしていました。ちなみにゆでガエルの話は危機が迫っているのにもかかわらず変化が緩やかなため気づかず、気づいた時には手遅れになっていると言う話です。

そんな話を絶えず聞いていたにもかかわらず、外の世界を見ることもしなかった私たちは、いや、私達だけでなく国内繊維にかかわっている製造メーカーは話の通りゆでガエルとなってしまいました。非常に困った局面でその時は会社も大変でした。

業界紙のデータで、平成1年の尾州地区染色業界の売り上げは平成1年1600億でした。平成27年は354億と約5分の一に、当社の様な染染め業界では平成1年業界総売り上げ480億でしたが、平成27年は85億とこちらも5分の一以下です。まさしくグローバル時代の到来です。又、岐阜県染色組合も平成1年には45社を数えますが今は4社となり、今は染染め業界と反染め業界とが一緒になり14社と言う組合と言うより、よりあいと言う細々とした規模でやっています。現状店舗で販売されている衣料品の国内製造は3%程のシェアしかなく、もはや絶滅危惧種です。

話を戻します。2005年の頃、仕事を海外にもっていった顧客の中から中国でうまく商品が出来ず、技術指導に行ってもらえないかと言う話がありました。

内心、家から仕事を振っておいてよく言うなあとの思いでした、が試しに指導に行く間当社の営業ができないので指導に行っている間、これだけの仕事を頂ければ行きますとかなり吹っ掛けて行ってみたところ(その当時の

私は正直中国なんか行きたくもなかったです)条件を出してみると、あっさりOKと言われ、その顧客に仕事をもらう為に日参していましたが、仕事がこななかったのは何なんだと思った次第です。

そのきっかけで中国に技術指導に行き、そんな話が3、4回あって中国に行っていたところです。ある京都の社長さんから呼ばれ、「青木さん技術指導で中国に行っても御社には何が残る?」と言われました。

その通りです。日々の仕事欲しさで行ってただけで当社には大きなメリットはありませんでした。ですが中国に行き行って気づいたことはたくさんありました、

繊維に於いて、日本はもはや本流ではなく枝葉にしかないと言う事は身にしみてわかりました。

その後、京都の社長さんから、「技術指導に行ってもらった商品は希望どうりの物はできたがどんな指導をしたのだ。」とも聞かれました。話を伺っていると私より前に東レの技術者や東洋紡の技術者を呼んで指導したができていなかったとの事でした。

その後、「どうや、青木さん。中国で染色工場をやってみないか?」と言われ、私は「社長やってみないかと言われても、縫製とかと違い機械もお金がかかり大きな工場が要りますから、かなりお金が掛かりますよ。」と言いました。すると社長は、「じゃ一緒にやってみないか。青木さんの所も3割ぐらいなら出資できるだろう。」と言われ、私は瞬時にやってみたいと思いました。

ヒョウタンからコマとはこのことかもしれませんが、これがきっかけで、2006年中国に合弁会社を立ち上げました。当時私は39歳でした。

2006年9月、中国工場常熟青亜紡織有限公司はスタートしました。中国工場は大成で開業3年目から10年間、毎年配当を出し18年で内部留保も沢山たまる会社になりましたが、コロナの中、工場移転の話もあり現地の合弁パートナーに2021年売却と言う事になりました。内部留保も付けての販売でして、中国での商売は、結局中国人が儲けるようにできているのだなあと感じました。

当社は私で7代目150年以上の歴史もあります、ガチャマン時代の良い時代もありました。染色屋は水商売だから良く儲かるとも聞きました。水商売に沢山お金は使ってきましたが、当社がそんな商売の様に儲かるとも思えませんが、やりようによってはまだまだやれるとは思っています。業界によって景気のいい悪いはあると思いますし、時間軸により業界の波は来ます。中国に進出した時も繊維でも儲かるんだなあと実感しました。この会社を先祖からバトンを受け継いで後世に会社を残す、息子にこの会社ならやってみたいと思えるようにするのも私の仕事です。

中国工場も売却。中国工場の立ち上げの時には2年間現地駐在もやっていたので日本のお客さんはほぼ弟に営業を任せました。私が42歳の時に父が亡くなりそれを機会に中国を駐在から出張ベースに切り替えました。

話は戻りますが、中国進出には父は大反対でした。その当時中国に出て行った染工場がことごとく失敗して本社工場まで潰すと言うところもあったからです、でしたが工場ができてからは手助けしてくれました。

父は公職もたくさんやっていました。父は常々「60を過ぎてからは社会の為に働かんと」と言っていました。安全協会、地元神社の総代、お寺の総代、柳津商工会長、県連の商工会長までやっていました。ガンで治療の為に役職を降りた方がいい、と嫌がる父を説得して書類を書きハンコをもらいに行った先は14を数えました。そんな父を持ちますので地元で何もやらないと言うのは通らない事だなとあきらめてはいますが、他人の為に働く、ボランティアという言葉は響きがいいですが、何か心に引っかかるものがありました。そんな中ロータリーに誘われボランティアは他人の為にじゃなく自分の為と言う話を聞き、利他の精神と言われたときに、何か腹にストーンと入る物もありました。まだまだ勉強不足で、色々学んでいけば本当の奉仕の意味も分かるかとも思いロータリーに入らせて頂きました。

又、父は『損して徳取れ』とも言っていました。損ばかりしては大儲けする事など、とも思いますが、はなから大儲けするつもりも無かったのかもしれない。

しかし人徳だけはあり、父が亡くなってからその妻は思い知りました。父の周りには自然と人が集まる、そんな人でした。

ロータリーに入って同じ境遇の仲間がたくさんできるのも楽しみだと思っています。皆さんで楽しく色々学びたいと思いますのでよろしくお願い致します。

PS:先月4年ぶりに中国に行っていました。4年の月日は変化の速い世の中です。景色が変わるには十分な月日でした。

高速を走っていても、電気自動車が4割ほどで、皆デザインも良く、日本の軽など野暮ったく感じます。

現地の人に、車の納期はどれくらいかと聞くと「電気自動車購入に補助が出ているのでガソリン車は売れ行きが悪く余っているから、トヨタのカムリでも明日にでも乗って帰れますよ。」との返事。「じゃ電気自動車は?」と聞くと、「電気自動車は掛かるよ。」と言われ、もう一度、どれくらいと聞くと、「3か月ぐらいかな。」と言われました。それを聞き、え、掛かると言っても3か月程度。なんで日本は1年も待たなきゃならないんだと思いました。

ちなみに電気自動車を見に行ってみて、ポルシェのカイエンのちょっと小型で450K走ると言われる車を、これ幾らかと聞いてみたら日本円で600万ぐらいと言われたので、「買います。」と言い、「この車を日本でほしいけど。」と言ったら、「いや、それは無理です。」と言われました。日本は販売が許可されていないとの事です。

日本の車事情とはあまりの違いに、ゆでガエルのお話を思い出しながら帰ってきました。



新会員 興石 豊 君

皆様こんにちは、本日 卓話をさせて頂きます興石です。

7月より大垣中RCより移籍、入会させて頂きましたが未だご挨拶もまだの方もいらっしやると思います。大変申し訳ございません。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

私は1972年5月生まれの現在51歳となります。23歳の時に独立をして今の会社をつくりました。色んな事がありました。そんな私の事を今日は少しお話させて頂きます。

私は中学を卒業後に進学をせず、美容業界へと入ります。それと言うのも私は少し素行が悪く、進学ができませんでした。中学というのは義務教育の為、進学をさせるか、もしくは登録をされている企業に就職をさせなければならず、私はその当初の担任と生活指導の先生に『手に職をつけた方がこの先の役に立つ』と美容師、調理師の二択を勧められ、私は美容業界を選び、住み込みで美容師見習いとなります。

中学出のまだ若かった私は、社会になじめずすぐに退職をしてしまいます。その後は仲間たちと遊んでばかりの生活が続きましたが、仲間でもあった先輩からある仕事を勧められ、各務原市の〇〇会社に就職をします。その会社は建設業で活気もあり、その当初の私には全ての事が初めての体験で刺激を受け楽しかった事を今でも覚えています。

その後、経験をいかし独立をして会社を立ちあげます。会社を立ちあげて何年か経った頃に私の会社は計画倒産の被害を受けてしまいます。被害金額(請負)としては600万ともなります。ですが、材料費、施工費は既に支払いが終わっている為、実質の損害はその倍ともいえる破格の金額となります。

その当初の私は経験も浅く、まだ生まれたばかりの子供もいて、本当に最悪の出来事でした。その計画倒産をした会社の親会社が現在の羽島RC会長の柳原社長の会社だったのです。

柳原社長はその事実を知って私の会社に直接のお取引を進めてくださり、今でもお付き合いさせて頂いて、大変お世話になっている社長です。そして、その当初小さかった二人の娘は、長女は看護師、次女は美容師となって今東京で頑張っていて働いております。

私の会社は防水工事がメインの外壁補修、塗床工事を得意としております。

最近では第二事業部の外構工事、発砲パネルで造る理想の塀で特許を取得しフランチャイズに参入しております。そちらの分野では2年連続で24時間テレビ(愛は地球を救う)、有吉ゼミ2時間特別番組にも芸能人のヒロ

ミさんとコラボ共演させて頂きました。弊社社員達も、とてもいい経験ができたと言っています。

そんな私の会社は今期で28年目となります。前事務所から羽島市飯柄に本社を構え移転し、今年で丁度10年目となります。そんな10年という節目に現在もお世話になっている柳原社長が、羽島RCの会長となり、大垣中RCよりお誘い頂き、これも何か大切なお縁と思い移籍、入会させて頂きました。

RCはおろか、人生においてもまだまだ未熟者の為、皆様には、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

本日は最後までご清聴頂きましてありがとうございます。

委員会報告

青少年奉仕委員会



「インターアクト年次大会報告」

青少年奉仕委員長 木寺 祐樹

8月1日(火) インターアクト会員

14名、青少年奉仕委員会メンバーで伊

賀の地までインターアクト年次大会へ

行ってきました。

参加してみて感じたことは31インターアクトクラブが同じ方向性を共有しているというところ、会長挨拶から点鐘は高校生が行い、ロータリー会員は完全に裏方に徹し、全てがインターアクト会員によって作り上げられその完成度が素晴らしい、の一言でした。

我々は2028~29年度に年次大会を行うことは決まっています。今まで以上に高校生と交流を図り、方向性を見極め準備をしなければいけません。この体験を次代の委員長に引き継ぎ、私たち委員会も今以上に取り組みを強化していきます。

出席委員会

- 本日の出席率
出席規定会員数 34名中 28名 82.35%
- 7月23日の補填出席率
出席規定会員数 33名中 30名 90.91%

ニコニコBOX委員会

◎ニコニコBOX

◆柳原 望成君	佐溝 勝樹君	西松 永根君
加藤 宗雄君	川崎 正一君	林 秀樹君
松田 和彦君	青木平七郎君	久米 勉君
平松 暁仁君	興石 豊君	天野 洋和君
辻井 晃君	加藤 隆康君	青木まき子さん
森 輝廣君	野中 学君	荒木 義男君
木寺 祐樹君	山下 正弘君	佐藤 裕昭君
栗山 浩幸君	青木秀 益君	

本日は「新会員卓話」です。青木秀益君、興石豊君の

話を聞きましょう。

◆岩田 勝美君

暑い日が続きます。前回例会には皆さんから誕生祝い
を頂き感謝!! 体感速度は時速71キロです。

◎仕合せ貯金

柳原 望成君 荒木 義男君 兼松 秋生君

幹事報告 (第2632回)

- 8月15日(火)は特別休会
- 次回例会は8月20日(日)『納涼例会』
22日(火)の例会変更
- 9月5日(火)第1例会(夜間)例会のご案内をレターケ
ースに配布 ※会員候補者の勧誘をお願いいたします。
- 地区大会開催のご案内をレターケースに配布
- ガバナー事務所 夏季休暇 8月11日(金)~16日(水)
ガバナー外事務所 夏季休暇 8月11日(金)~16日(水)
当クラブ事務局 8月10日(木)~16日(水)
- 回覧内容
①9月5日(火)夜間例会出欠確認
②地区大会 出欠確認名簿
③MY ROTARYのデザイン変更についてのご連絡
④地区大会の決議に関わる資料の事前送付及び大会決議
審議会開催のご案内
⑤ガバナー事務所より「新しいクラブ発足へのお願い」
⑥インターアクト年次大会お礼状

《第2回理事役員承認事項 報告》

- 1) 9月の例会プログラムについて **承認**
 - 2) 大垣中ロータリークラブ創立40周年記念例会(9/1)
ご祝儀について **承認**
- 確認・報告事項
- 1) 10月6日(木)ガバナー公式訪問・9RC合同
例会・IM登録人数 本日回答締切
- 役員協議事項
- 1) 会員出席免除申請について **不受理**
 - 2) 例会当日の欠席会員について …SAAより
例会当日、連絡無しで欠席した会員は1,000円を預託
金より引き落とし
1,000円はバック代及び奉仕料として西松亭に支払う
当日の余った食事は出席者が持ち帰ることとする
 - 3) 仕合せ貯金とニコニコボックスの違い
親睦委員会で徹底。または受付担当者に直接教育する。

9月の行事予定

1日(金) 大垣中RC40周年記念例会

【会長・副幹事】

5日(火) 第2635回 『友愛例会』夜間例会

点鐘 18:30

*お祝い行事

*増強活動

12日(火) 第2636回 『プログラム卓話』

卓話「スタートアップとの事業共創を通じて
十六フィナンシャルグループの事業領域を
拡大する」

NOBUNAGA キャンパウスイット

峠 清孝様

◎例会後 第3回理事役員会

19日(火) 第2637回 『プログラム卓話』

卓話「岐阜県中小企業

融資制度について」

岐阜県商工労働部 商業・金融課

課長補佐 兼 資金融資係 井澤 洋様

26日(火) 第2638回 『クラブフォーラム』

卓話「交換留学を経験して」

2022-23年度 夏期派遣学生

西松 出造君

※百万ドルの食事

第46回インターアクト年次大会

日程: 令和5年8月1日(火)

会場: 伊賀市文化会館・ヒルホール7伊賀



ポリオ・
ラッピングカー



本日の例会の食事

